

第4回 那覇空港滑走路増設事業環境監視委員会

平成26～27年度工事内容

平成27年6月4日

内閣府沖縄総合事務局

国土交通省大阪航空局

< 目次 >

1. 平成 26～27 年度工事内容	1
1.1 汚濁防止膜の設置位置	2
1.2 護岸工事（本体）	3
1.3 護岸工事（ケーソン製作）	4
1.4 護岸工事（ケーソン据え付け）	5
1.5 仮設工事	6

1. 平成 26～27 年度工事内容

表 1 平成 27 年度の工事予定

	主な工事範囲	平成27年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
護岸工事	I～IV工区(沖・陸側) VI工区(連絡誘導路) ケーソン・ブロック製作	平成28年度も継続											
浚渫工事	IV工区(沖・北側)												
埋立工事	VI工区												平成28年度も継続

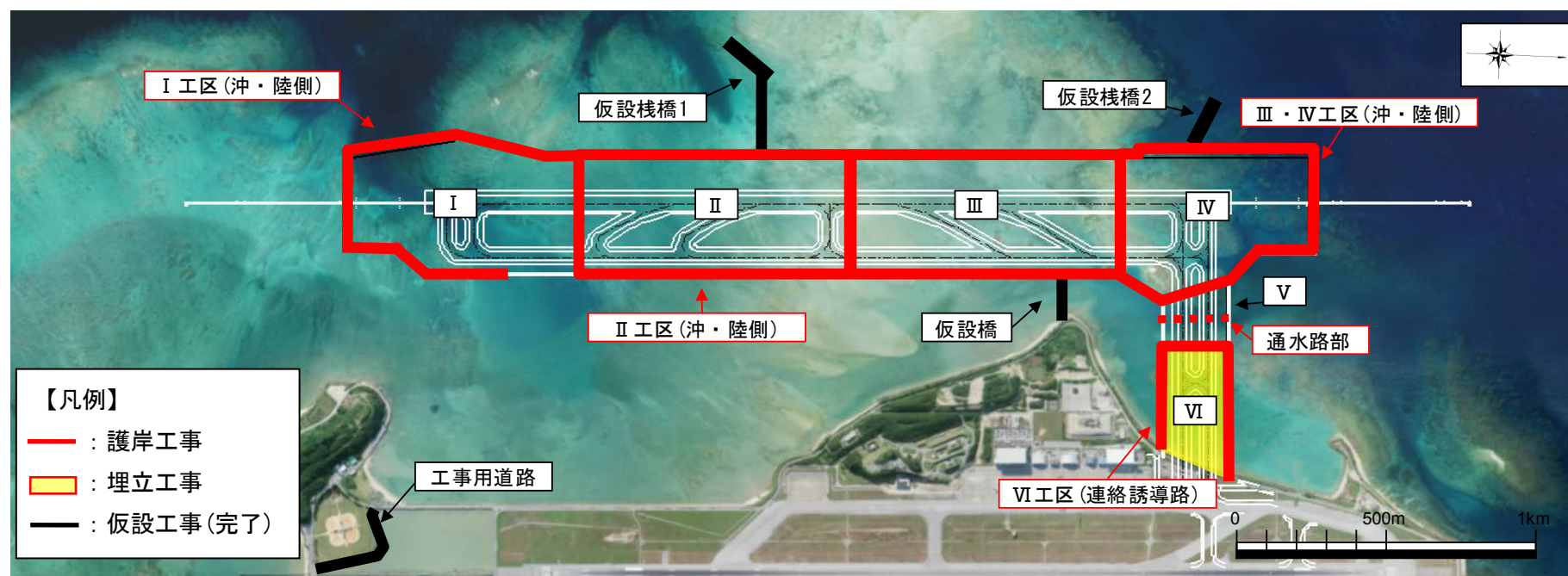


図 1 平成 26～27 年度の工事箇所

1.1 汚濁防止膜の設置位置



※浅海域については撒き出し部の部分展張により対応

図 2 汚濁防止膜の設置位置



図 3 汚濁防止膜設置状況（平成 27 年 4 月、5 月撮影）

1.2 護岸工事（本体）

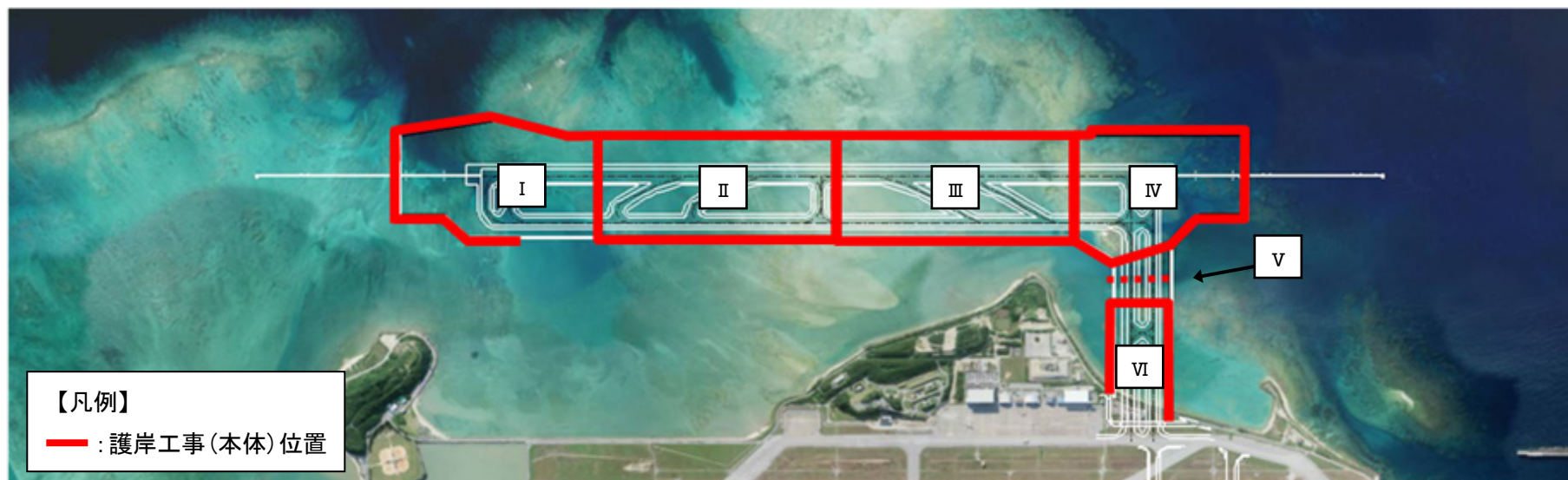


図 4 護岸工事の位置



【VI工区】捨石投入状況



【VI工区】ブロック据え付け状況



【VI工区】防砂シート敷設状況

図 5 護岸工事（平成 27 年 4 月、5 月撮影）

1.3 護岸工事（ケーソン製作）

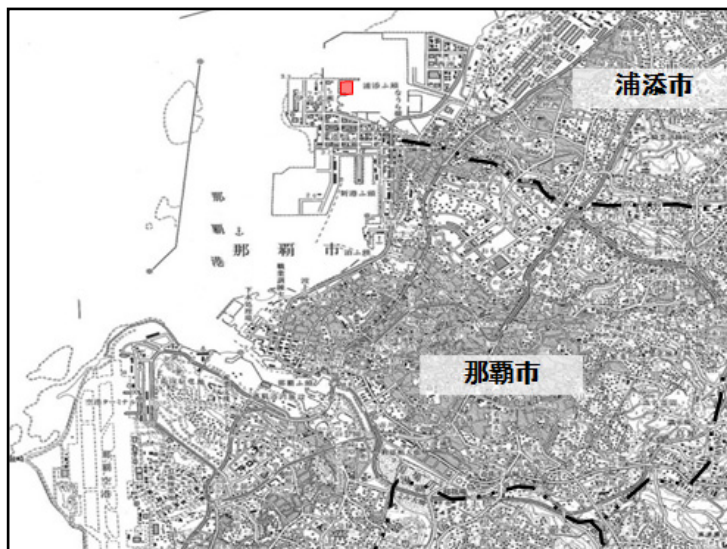


図 6 護岸工事（ケーソン製作）の位置



ケーソン製作状況



ケーソン製作状況



ケーソン進水状況

図 7 護岸工事（ケーソン製作）状況（平成 27 年 3 月、4 月撮影）

1.4 護岸工事（ケーソン据え付け）



図 8 ケーソン据え付け位置



ケーソン曳航状況



ケーソン据え付け状況



蓋コンクリート設置状況

図 9 護岸工事（ケーソン据え付け）状況（平成 27 年 4 月、5 月撮影）

1.5 仮設工事

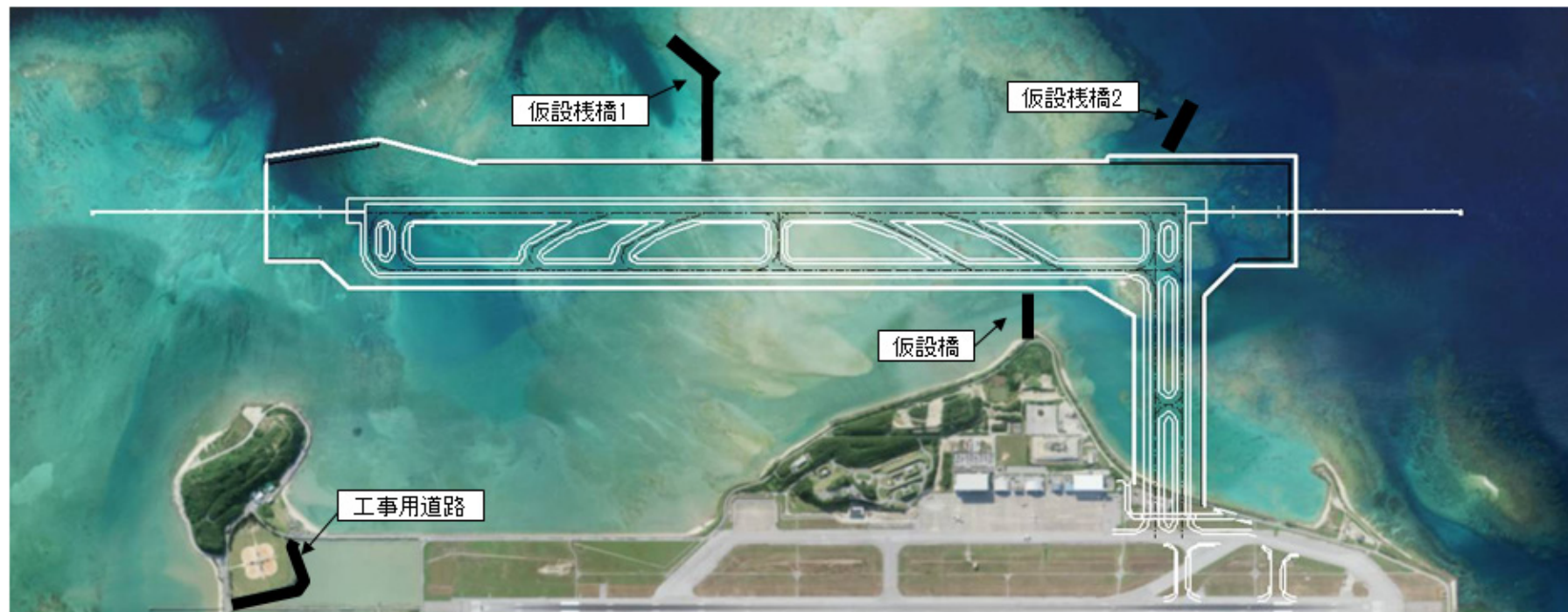


図 10 仮設工事位置



【仮設橋】全景



【仮設棧橋 1】石材搬入状況



【仮設棧橋 2】全景

図 11 仮設工事状況（平成 27 年 4 月、5 月撮影）

県外産石材使用にあたっての環境対策（案）

着工後1年経過した現在の課題

- 工事着手から1年が経過し、以下の課題が判明。
 - ①台風による作業中断に加え、冬場の施工条件が想定以上に厳しい
 - ②採石場のある本部港塩川地区の石材の積出能力等の制約により工事進捗に影響
- 平成27年度は、石材が必要となる護岸工事がピークを迎える時期であり、気象海象条件の良い夏場に集中的に工事を進めることが必要。
- 工期を確実なものとするため、石材の安定供給が不可欠。

石材の安定供給のために必要な対応

- ①本部港塩川地区からの積出能力強化
- ②県内他地区からの供給
- ③県外産の石材の活用

県外産石材使用の際の環境対策（案）

- 石材は、採取元の鉱山において洗浄を行い、付着する土砂や動植物等を洗い流す。
- 港から搬出する際に、付着物がないか目視確認を行う。